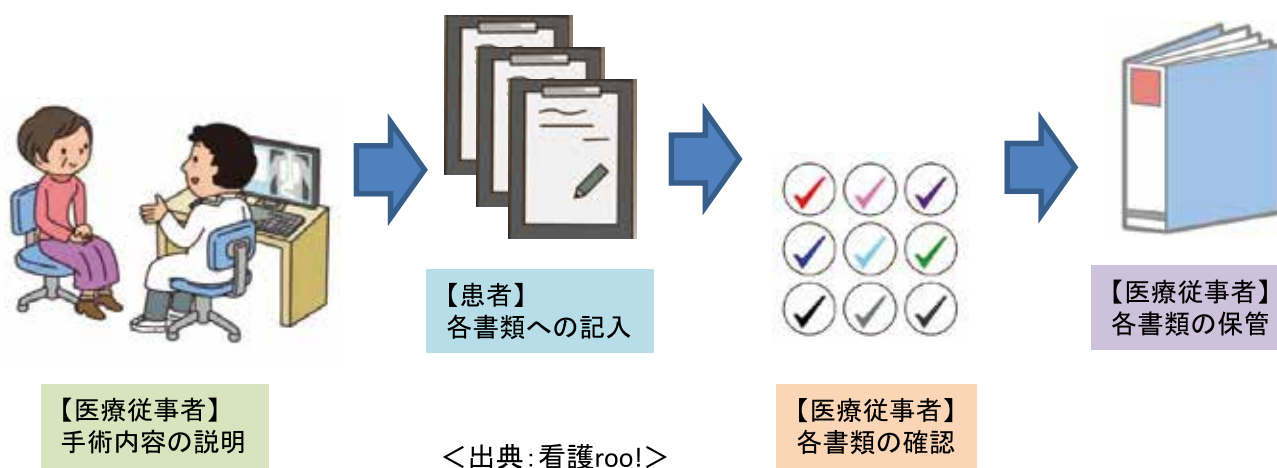


テーマ：手術時の手続きを簡略化したい

■ 背景

外来・入院を問わず、手術時には様々な資料を患者さんから提出いただく必要があります。例えば、手術同意書、誓約書、個人情報利用同意書などの書類(内容を説明の上で記名頂く)。スクリーニングシート(嚥下障害や褥瘡の有無、薬や食物アレルギーの既往例、転倒の可能性など)の聞き取りも必要です。

もし、資料が足りない場合、手術が実施できないので、緊急の場合は医療従事者が患者さんの自宅を訪ねて回収する場合があります。これは看護側にとって大きなプレッシャーとなります。



■ 課題

- ① 内容確認、不足の有無チェックは手間である
- ② 患者取り違いリスクがある
- ③ 個人情報流出の恐れ
- ④ 書類の保管スペースの確保

■ 課題解決による効果

- 手続きが簡略化できると、
- ① 診察・看護に時間を振り分けることが可能となる
 - ② 患者さんの診察待ち時間を短縮できる
 - ③ 医療従事者の働き方改革につながる

■ 市場性

令和3年度滋賀医科大学附属病院では9,730件の手術を実施し、ここ3年間大きな変化はない。大小合わせると全国では数百万件の手術が行われているものと推定される。

課題解決に向けたアイデアはありますので、私たちと協働で解決策を考案してくださる企業を求めています。

■ 臨床看護学講座成人看護学ホームページ

<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqahn/>